

平成28年度  
事業報告書

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会

## 目 次

I	【 法人本部拠点 】	
I-1	法人運営事業	1
	(1) 法人本部	
	(2) 法人運営事業	
I-2	地域福祉増進事業	7
	(1) 地域福祉増進事業	
	(2) 福祉まちづくりセンター運営事業	
	(3) 共同基金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業	
I-3	善意銀行事業	18
	(1) 適正な運用管理	
	(2) 計画的な運用	
I-4	日本赤十字社名張市地区事業	19
	(1) 日本赤十字社名張市地区事業	
I-5	なばり暮らしあんしんセンター	20
	(1) 福祉サービス利用援助事業	
	(2) 成年後見事業	
	(3) 生活困窮者自立支援事業	
	(4) 地域福祉金庫貸付事業	
	(5) 生活福祉資金貸付事業	
	(6) 名張市国民健康保険出産費資金貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	28
	(1) 事業経営管理体制の整備	
	(2) 事業別取組み実績	
	1. 通所介護事業	
	2. 訪問看護事業	
	3. 居宅介護支援事業	
III	【 昭和保育園拠点 】	35
	(1) 事業の概要	
	(2) 適切な運営体制確立	
	(3) 特別保育事業	
	(4) マイ保育ステーションの取組み	
	(5) 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	40
	(1) 総合福祉センター指定管理事業	
V	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	42
	(1) 老人福祉センター指定管理事業	
	(2) 介護予防事業	

## I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課）

### I-1. 法人運営事業

#### （1）法人本部

総務課内担当業務を明確化することによって、安定的な財務運営と財務状況の透明性の確保を推進しました。

また、社会福祉法人改革への迅速な対応・対策に向けて、より効率的で効果的な事務局体制の在り方について協議検討しました。

#### （2）法人運営事業

##### 1. 適正な経営管理

###### ①理事会の適正な運営

事業計画・予算、事業報告・決算についての認定、組織構成会員の入会及び役員等の選任を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 5月24日（火）	1) 平成27年度事業報告の認定について 2) 平成27年度決算の認定について 3) 評議員の選任について 4) 組織構成会員の入会について 5) 平成27年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 6) 平成28年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
第2回 6月1日（水）	1) 会長の選任について 2) 副会長の選任について 3) 職務代理者の指名について 4) 常務理事の指名について 5) 顧問の委嘱について
第3回 7月29日（金）	1) 副会長の選任について 2) 社会福祉法人の改革について 3) 名張市地域福祉教育総合支援システムの構築について
第4回 9月12日（月）	1) 補正予算（第1号）について 2) 組織構成会員の入会について 3) 社会福祉法人の改革にかかる対応について
第5回 12月13日（火）	1) 定款の変更について 2) 会員規程の一部改正について 3) 理事及び評議員選出規程の一部改正について 4) 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 5) 名張市善意銀行設置及び管理運営規程の一部改正について 6) 組織構成会員の入会について 7) 評議員の選任について 8) 社会福祉法人の改革にかかる対応について

第6回 1月17日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 定款の変更について</li> <li>2) 会員規程の一部改正について</li> <li>3) 理事及び評議員選出規程の一部改正について</li> <li>4) 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について</li> <li>5) 組織構成会員の入会について</li> <li>6) 社会福祉法人の改革にかかる対応について</li> </ol>
第7回 2月22日(水)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 評議員候補者の推薦について</li> <li>2) 評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>3) 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>4) 組織構成会員の入会について</li> <li>5) 福祉まちづくりセンター事業について</li> <li>6) 「地域福祉活動助成事業」における子育てサークル活動への助成について</li> </ol>
第8回 3月23日(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算(第2号)について</li> <li>2) 事業計画について</li> <li>3) 平成29年度予算について</li> <li>4) 経理規程の一部改正について</li> <li>5) 第三者委員の選考について</li> <li>6) 定款細則の変更について</li> <li>7) 組織規程の一部改正について</li> <li>8) 就業規程の一部改正について</li> <li>9) 給与規程の一部改正について</li> </ol>

## ②評議員会の適正な運営

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、理事の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 5月26日(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成27年度事業報告の承認について</li> <li>2) 平成27年度決算の承認について</li> <li>3) 役員の選任について</li> </ol>
第2回 7月20日(水)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 役員の選任について</li> </ol>
第3回 9月14日(水)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算(第1号)について</li> </ol>
第4回 1月26日(木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 定款の変更について</li> <li>2) 理事の選任について</li> </ol>
第5回 3月28日(火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算(第2号)について</li> <li>2) 事業計画について</li> <li>3) 平成29年度予算について</li> </ol>

### ③役員会の開催

11月22日（火）に開催し、人事労務案件について報告しました。

### ④監事監査の開催(年2回)

ア. 決算監査5月11日（水）

- 議題 1) 平成27年度決算報告について  
2) 平成27年度事業報告について

イ. 中間監査11月22日（火）

- 議題 1) 平成28年度上半期の事業報告について  
2) 平成28年度上半期の経営状況について  
3) 理事の出席状況について

## 2. 社協会員の増強

### ①組織構成会員の拡充

1世帯1会員を目指して、地域づくり組織へ依頼し会員の募集をしました。また、組織構成会員への加入依頼を行いました。

組織構成会員の内訳

(平成29年3月末現在)

種 別	会員数
第1種 地域づくり組織	15
第2種 民生委員児童委員協議会	8
第3種 社会福祉事業施設	11
第4種 障害者団体等当事者団体	10
第5種 ボランティア団体	120
第6種 その他社会福祉に関係のある団体	20
第7種 社会福祉関係行政機関	1
第8種 学識経験者	2
合 計	187

### ②組織構成会員の活動活性化に向けた取組み

活発な地域福祉活動の促進を目的とした、組織構成会員対象の研修会を開催しました。

ア. 地域福祉推進セミナーの開催

開催日 11月23日（水・祝）

第1部 「今求められる社会福祉法人としての役割と機能について」

講 師 税理士法人アチーブメント京都本社 三品 健介 氏

税理士法人アチーブメント三重事務所所長 廣野 一三 氏

第2部 『一人ひとりを“独り”にしない「暮らし応援ネットワーク」の提案』

講 師 名張市社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長 福井浩司

#### イ. 種別会の開催

開催日 2月14日(火)・20日(月)

『今求められる「名張市社会福祉協議会」の使命』

講師 名張市社会福祉協議会 会長 奥村 和子

### 3. 適正な事業運営

#### ①経営会議の運営

法人の経営に係る課題を共有して、健全な経営基盤を確立するとともに、効果的・効率的な法人運営を図るため、経営会議を29回開催しました。理事会・評議員会の議案や財務、労務管理上の課題等について協議しました。

#### ②経営観点に立った昭和保育園の適正管理

昭和保育園は昭和62年4月に改築し、30年目を迎えました。保育所の耐用年数は47年が標準ですが、付属設備等は短く外壁・空調等の大規模修繕の必要性が高まっています。将来的な需要の検討を行い、建替えを前提に必要な積立金の検討を行いました。

### 4. 安定的な財務運営と財務状況等の透明性の確保

顧問税理士の指導のもと、関係規程に沿いながら適切な税務及び会計事務を行いました。また、社会福祉法人制度改正に対応した規程の整備を行いました。

### 5. 人事労務管理

#### ①人事給与制度の見直し

顧問社会保険労務士の指導のもと、経営方針や事業戦略に合致した人材確保と活用に向けて人事給与制度の見直しを行いました。また、顧問社会保険労務士と年20回の協議の場を持ち、人事労務案件や労務関係規程の改正等について協議しました。

#### ア. 職責職務等級制度の確立

職責(役割)に応じた管理体制を整備し、職務遂行力と職責(役割)を重視した制度を作りました。

#### イ. 職員への周知

制度見直しにかかる職員説明会を、正規職員を対象に2回、非正規職員を対象に3回、係長級以上職員を対象に2回実施しました。

#### ウ. 人事考課研修の実施

人事考課制度の適正運用に不可欠な、考課者の資質向上のための研修を実施しました。

- ・新考課者研修 5月30日(月)
- ・考課者研修 9月26日(月)、3月13日(月)

#### ②職員研修の効果的な実施と体系化に向けた取組み

職員の階層に合わせた階層別研修と、正規職員・臨時職員を対象とした全体研修を実

施しました。

ア. 階層別研修

- ・ 新任研修 入職した正規職員を対象に2日間実施
- ・ 階層別研修 6月30日（木） 3・4級職員対象  
8月19日（金） 5・6級職員対象  
2月23日（木） 1・2級職員対象
- ・ メンタルヘルス・ラインケア研修 10月4日（火） 3～6級職員対象
- ・ 会計業務研修 8月17日（水） 会計業務に携わる職員対象

イ. 全体研修

- ・ 人材育成研修 6月15日（水）、9月9日（金）、2月10日（金）
- ・ 人権研修会 12月1日（木）
- ・ メンタルヘルス・セルフケア研修 12月26日（月）
- ・ 赤十字講習会 7月25日（月）
- ・ 平成29年度事業について 3月27日（月）

③衛生委員会機能の充実と働きやすい職場づくり

衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、様々な課題について協議しました。

開催日	議案
第1回 4月26日（火）	1) 心の健康づくり計画に基づく巡視について 2) 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画について
第2回 5月31日（火）	1) ストレスチェック実施について 2) 各事業所の衛生管理等について（職場巡視）
第3回 6月22日（水）	1) 平成28年度の年間計画について 2) 職場巡視結果について
第4回 7月27日（水）	ストレスチェック実施結果について
第5回 8月25日（木）	1) 職場巡視後の対策について 2) 今後の衛生委員会について
第6回 9月27日（火）	1) 福祉まちづくりセンターの衛生管理等について 2) 夏休取得日数途中経過について 3) インフルエンザ予防接種について
第7回 10月26日（水）	職員の有給休暇取得率について
第8回 11月29日（火）	夏休取得日数結果について
第9回 12月1日（木）	各事業所の衛生管理等について（職場巡視）
第10回 1月24日（火）	平成29年度安全衛生管理計画について
第11回 2月20日（月）	平成29年度安全衛生管理計画について
第12回 3月22日（水）	平成28年度総括

#### ④労働時間の適正管理と過重労働防止に関する対策の実施

職員ひとり一人の労働時間を集計し、毎月の経営会議や衛生委員会で報告を行いました。また、「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」で職員の健康状態を把握し、過重労働の防止に努めました。

### 6. リスク・マネジメント体制の整備

特定個人情報の保護を徹底をするため特定個人情報を取り扱う職員を対象に、10月5日(水)、個人番号利用事務等実施者研修を実施しました。

### 7. 危機管理体制の整備

災害発生時にかかる職員の参集、来所者等への対応、被害状況等の確認について検討を行いました。

### 8. 広報啓発

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

#### ①社協だより「ほほえみ」の発行

年6回(奇数月)伊賀タウン情報ユ一の紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載しました。また、毎回紙面について法人内アンケートを実施し、より見やすい紙面づくりを進めました。

#### ②ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、財務諸表等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金についての情報発信を行いました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 5,261件

#### ③メディア活用による情報発信

新聞、FMなばり、ケーブルテレビ等に情報提供し、イベント開催や当会の取組みについての情報発信を行いました。

#### ④社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第46回名張市社会福祉大会を名張市地域福祉教育総合支援システムキックオフ大会と合同で11月13日(日)アドバンスコープA D Sホールにて開催しました。

- ・社会福祉大会
- ・名張市地域福祉教育総合支援システムキックオフ大会

シンポジウム「多機関協働による地域まるごと福祉・教育構想について」

### 9. 施設・財産管理

保有する資産・財産の管理を適正に行いました。老朽化した昭和保育園の機能回復の



ため、乳児室カーペット張り替えや、厨房の給湯配管漏水にかかる修理等を行いました。

## I - 2. 地域福祉増進事業

### (1) 地域福祉増進事業

#### 1. 地域福祉活動計画の推進

第3次名張市地域福祉活動計画の2年目として、計画に基づき地域福祉の総合的な推進役としての役割や使命を踏まえ、各地域づくり組織、民生委員児童委員協議会連合会（以下「民児協」という。）、関係福祉団体や行政との連携のもと、基本目標を達成するために各事業を進めました。

また、計画の進捗状況の確認、評価、見直しのため、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催し、次年度の計画見直しに向けた課題整理を行いました。

実施日	2月22日（水）	推進委員 5名
-----	----------	---------

#### 2. 「くらし応援ネットワーク事業」の提案

地域住民や福祉関係団体、行政関係者等地域福祉をすすめる関係団体のネットワークと、「名張市における公益的な取組み」を実施しようとする社会福祉法人とが、地域における福祉ニーズを把握・共有し、可能な範囲で制度横断的に解決に向けて取り組む「くらし応援ネットワーク事業」を企画、提案しました。

最初の取組みとして、「名張市社会福祉法人・施設連絡会（仮称）準備会」を開催し、「名張市における公益的な取組み」を共に推進していく合意形成を図り、次年度に向けたきっかけづくりを行いました。

準備会開催日	2月20日（月）	8施設 9名参加
--------	----------	----------

#### 3. 小地域ネットワーク事業

##### ①地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

地域福祉係職員5名（社会福祉士等）が15地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民児協の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

- ・地域の活動者や住民からの問い合わせ相談

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
活動支援	29	17	46	生活支援	10	5	15
情報提供	39	26	65	その他	106	176	282
職員派遣	12	12	24	計	196	236	432

- ・地域の会議や事業等への参加状況

区分	会議や事業	ふれあい・いきいきサロン
件数	87	56回（27サロン）

##### ②救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の推進

民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて更新確認の声かけ

を行ってもらい、社協職員による更新確認と合わせて、個別の相談支援に取り組み、漏れのない見守りのしくみづくりを進めました。

平成 28 年度申込	263 世帯・417 名
利用者数	3,226 世帯 (81 世帯増) ・4,851 名 (115 名増) (利用廃止：606 世帯・417 名 ※H24 からの廃止総数)
救急隊活用件数	35 件 期間：平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日

### ③住民による生活支援サービスへの取組み支援

#### ア. 情報交換の場の開催（地域支えあい活動連絡会議）

住民相互の支えあい活動に取り組む地域に対して、活動者同士の情報交換や意見交換の場を設け、活動に必要な情報提供や活動上の課題解決に向けた活動者同士の相互支援、また、新たに立ち上げる地域の組織化支援等を行うことを目的に地域支えあい活動連絡会議を開催しました。また、新たな活動団体立上げ支援と次年度の支援につなげるため、現在の取組み状況と課題をまとめました。

特に、桔梗が丘地域では、外出支援や配食活動を新たな支援項目に加えるために毎月各支援メニューの会議に参画しました。また、名張地域では、次年度より新たに外出支援に取り組むための会議に毎月参画し、準備検討を進めている薦原地域についても、活動支援を行いました。

地域支えあい活動団体	8 団体（うち平成 29 年度活動実施予定 1 団体）
地域支えあい活動連絡会	2 月 8 日(水)22 名／8 団体 2 機関

#### イ. 生活支援コーディネーターの配置

地域担当職員と連携し、地域支えあい活動への支援を行うとともに、新たな介護予防・認知症予防として住民主体の「スクエアステップサロン」を各地域で展開していくための人材養成と活動の立ち上げ支援を行いました。

また、地域包括支援センターと連携し「各地区の社会資源」をまとめるために情報の一本化に向け取り組みました。

#### ・「スクエアステップサロン」の取組み

スクエアステップ交流会	実施日：1 月 18 日（水）参加者 18 名
スクエアステップ体験会	実施日：1 月 18 日（水）参加者 19 名
スクエアステップ リーダー養成研修	実施日：2 月 3 日（金）、2 月 7 日～23 日（選択実習）、3 月 3 日（金）研修修了者：40 名
スクエアステップサロン 立上げ実施箇所数	桔梗が丘（7）、百合が丘（1）、つつじが丘（1）、すずらん台（1）、美旗（2）、比奈知（1）

### ④追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。（10 地区）

## 4. 福祉団体等との連携、協働の強化

### ①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体（老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会）との「事

務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議の日程調整等各福祉団体と連携した支援により、各団体活動を円滑に実施することができました。

## ②家族会等の活動支援

### ア. 家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援、「介護者のつどい」の開催

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに、介護者同士の交流と心身のリフレッシュを図るため、「楓の会」との共催により「さくら喫茶」並びに「介護者のつどい」を開催しました。

#### ・「さくら喫茶」

介護者同士が日頃の介護についてお茶を飲みながら話し合うだけでなく、介護の合間に簡単に出来る手芸等を参加者同士で教え合う企画を共に考え、多様な方が参加できるように工夫して実施しました。

開催日・場所	毎月1回（計12回）福祉まちづくりセンター 参加者74名
--------	------------------------------

#### ・「介護者のつどい」

介護施設の見学や食事会、講演会を開催し、介護者同士が日頃の介護についての悩みを共有したり励まし合ったり、心のリフレッシュと共に介護者同士の交流を図りました。

実施日・参加者数	7月27日（水）参加者11名（楓の会9名、一般2名） 内容：施設見学、食事会
	11月25日（金）参加者31名（楓の会11名、一般20名） 内容：講演会

### イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

### ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障害（知的・精神・身体）を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営並びに開催支援を行いました。

### エ. とれたて名張交流館事業への参画

「とれたて名張交流館」出店団体連絡会議を開催し、とれたて名張での出店方法についての情報交換を行うなどして、出店者同士の交流と福祉のおみせの販売促進に取り組みました。

出店団体連絡会議	2月21日（火） 参加団体：6団体
----------	-------------------

## 5. ボランティアセンター事業

### ①ボランティアセンター運営委員会

住民の多様なニーズに対応していくため、ボランティアセンターとしての取組み状況について報告し、ボランティア活動者である運営委員とともにセンター運営における情報共有や地域課題解決に向けた協議・検討に取り組みました。

第1回	5月9日（月）委員：9名、オブザーバー：1名
-----	------------------------

第2回	9月1日(木) 委員:7名、オブザーバー:1名
第3回	1月11日(火) 委員:9名
第4回	3月7日(火) 委員:7名、オブザーバー:1名

## ②相談・活動支援

### ア. ボランティアコーディネーターによる相談・活動支援

ボランティア登録数	176 団体 (延べ 3,657 人) ※サロン 82 団体含む 個人ボランティア受入登録施設 15 施設
	個人ボランティア 723 名 ※アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア、施設含む

### イ. 相談実績 (相談区分と件数)

※福祉まちづくりセンター相談含む

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	56	211	267	情報提供	17	9	26
ボランティア希望	39	67	106	情報発信	1	3	4
活動支援	5	16	21	その他	35	37	72
				計	153	343	496

### ウ. ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	892 名	44 団体 847 名・個人 45 名
行事用保険	82 件	27 団体 4,175 名
福祉サービス総合補償	5 件	5 団体 活動従事者 132 名
送迎サービス総合補償	1 件	1 団体 法定乗車定員数 36 名
事故対応件数	活動保険 / 傷害事故 / 請求 2 件	
	行事用保険 / 物損事故 / 請求 2 件	
		補償外 0 件

## ③ネットワークの構築

### ア. ボランティアアドバイザー連絡会

ボランティア活動に関する情報交換及び、ボランティア活動啓発方法についての連絡会を開催するとともに、ふれあいフェスティバルにおいてボランティア啓発・相談ブースを出展しボランティア活動の啓発を行いました。

登録ボランティアアドバイザー数	6 名
連絡会	年 2 回 (出席 3 名、延べ 6 名)

### イ. 配食ボランティアグループ連絡会、研修会の開催

事故なく安心して配食ボランティア活動が実践出来るように、活動支援の一環として時期に応じた食品衛生に関すること及び新たな知識等を得られるための研修会を実施しました。

研修会	① 6月 27日(月) 参加者 47名 (7団体) テーマ：夏場における食中毒及び手指消毒の重要性
	② 8月 17日(水) 参加者 12名 (4団体) テーマ：食の安全・安心について
	③ 12月 8日(木) 参加者 43名 (8団体、1市民センター) テーマ：ノロウィルスの予防について

・配食ボランティア活動実績 (地域福祉活動助成対象団体)

配食	10団体/9地域	年間配食数	17,101食	対象者数	475人
会食	2団体/2地域	開催日数	177日	延べ利用者数	690人

#### ウ. 福祉協力校連絡会の開催

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

連絡会	① 6月 16日(木) 参加 21校 ② 3月 10日(金) 参加 18校 (小学校 14校・中学校 5校・高等学校 2校・高等専門学校 1校)
-----	---

#### エ. ふれあい・いきいきサロン交流会

ふれあい・いきいきサロン活動者に、それぞれの実践活動についての情報共有や活動者同士の交流の場の場を提供し、それぞれの活動の充実と活動者間のつながりづくりとなるよう交流会を開催しました。

実施内容	3月 17日(金) 参加者 42名 (30サロン) 地域で活動するボランティア団体の活動紹介、交流会
------	---

#### オ. 各施設のボランティア担当者交流会

各福祉施設のボランティア担当者との意見交換、情報提供等を目的として交流会を開催しました。

参加施設	9月 6日(火) 特別養護老人ホーム 5施設、小規模多機能施設 5施設
内容	ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンターの紹介 施設で活動いただけるボランティアの紹介、傾聴ボランティア活動及び買物支援ボランティア活動の紹介・依頼、意見交換等

#### カ. ふれあいフェスティバルの開催

ボランティアセンター運営委員会メンバーを含む実行委員会を立ち上げ、ボランティア活動を含む地域福祉活動の啓発や住民同士のつながりの場としてふれあいフェスティバルを開催し、多くの住民にボランティア活動等について周知することができました。

協力ボランティア団体	ブース出展団体：37団体、ステージ発表団体：9団体 パネル出展団体：31団体
協力個人ボランティア数	事前準備 11月 25日(金)：10名 ふれあいフェスティバル 11月 26日(土)：122名
内容	ボランティアグループ活動発表、ブース出展、パネル展示、笑顔の絵

	はがき展示、スタンプラリー、ソーラーカーづくり、各体験ブース等
--	---------------------------------

#### ④災害、防災への取組み

##### ア. 災害ボランティアセンター設置・運営体制整備

災害ボランティアセンター設置・運営体制を整備をするために、災害ボランティアセンター設置運営マニュアル作成プロジェクト会議を立ち上げマニュアル（案）を作成しました。

プロジェクト会議	実施日：6月7日（火）～3月28日（火） 計10回
----------	---------------------------

本年度検討を重ね取り組んできた災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの内容に沿って、名張市防災ボランティア他関係機関の参加のもと、センター設置運営訓練を行いました。

設置・運営訓練	実施日：3月12日（日） 参加者：50名
---------	----------------------

##### イ. 防災ボランティア講座（養成研修）の実施

名張市民の防災に対する意識の啓発、知識、技能の習得や向上を図るため、地域、職場等での防災活動（平常時、災害時）の中核となる人材、また災害時には、地域内の声を拾い、伝えていただく災害ボランティアセンターと地域の橋渡し役として活動いただける人材として防災ボランティアを養成しました。

実施内容	期間：10月29日（土）～3月4日（土） 参加者：38名 6日間（18講座）
------	---

#### ⑤地域福祉教育

##### ア. 子どもたちのボランティア活動機会の提供

社会福祉施設を利用している人々や職員と共に活動し、交流を深め、子どもたちがボランティア活動へ参画するためのきっかけづくりを実施しました。

ふれあい活動	7月27日（水）～29日（金） 参加児童25名・生徒2名・教師7名 デイサービスはなの里、昭和保育園
--------	--

ふれあい隊活動	7月22日（金）2名 ※中学生以上対象 昭和保育園（夏のお楽しみ会）
	8月9日（火）～10日（水）参加児童6名 昭和保育園
	8月27日（土）参加児童3名 世代間交流事業実行委員会（鮎のつかみ取り）
	12月26日（月）～27日（火）参加児童5名 デイサービスそらまめ、昭和保育園
	3月28日（火） 参加児童1名 デイサービスそらまめ
子どもなんでも体験団	11月6日（土）参加児童28名 万華鏡づくり（講師・山門和美）

イ. 小・中学生を対象とした「ふれあいだより」の発行、小・中学校への学級掲示

発行回数、設置場所	No.31～33（年3回）7月、11月、2月発行 213クラス
内容	ふれあい活動・ボランティア活動等への参加者募集、活動報告

ウ. 出前講座による福祉体験の実施

児童・生徒に各種体験学習を出前講座として実施し、障害等についての気づきや理解を深めるとともに児童・生徒が自らの生活の中でできることを考える場を提供することができました。

蔵持小学校	10月13日（木）対象：4年生（33名）内容：車いす・アイマスク体験
箕曲小学校	2月16日（木）対象：4年生（22名）内容：車いす・アイマスク体験

#### ⑥交流活動

ア. みんなでいっしょに唄いませんかの開催

高齢者や障害者、子育て中の親子等住民を対象に開催し、音楽を通じ世代を超えた交流と社会参加の場を住民に提供しました。

実施内容	毎月1回（計12回） ふれあいホール 484名（初参加27名）
------	---------------------------------

イ. おもちゃ図書館の運営、利用周知

開館日数	195日
利用者数	1,819名（大人799名、子ども1,020名）初来館169組
協力ボランティア	2名（活動日数 26日）

## （2）福祉まちづくりセンター運営事業

### 1. 相談、活動支援

①ボランティアコーディネーターによる相談、活動支援

ショッピングセンターリバーナ3階に設置した福祉まちづくりセンターは、運営を午後8時、土日祝にも行っていることから、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることができました。

・相談実績（相談区分と件数）

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	19	52	71	情報提供	8	2	10
ボランティア希望	12	5	17	情報発信	2	4	6
活動支援	1	3	4	その他	1	1	2
				計	43	67	110
				窓口利用者数	1,767		

②イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントや子育て支援の事業を実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延人数（協力者含む）
518回	4,707人

### ③会議室等利用等実績

利用件数	利用団体	利用者数
259 件	79 団体	1,450 人

## 2. 広報啓発

フェイスブックやツイッター、地域の広報紙等の設置、ホームページや「福まち新聞」による活動紹介、リバーナ1階名張忍ラウンジでの掲示や館内放送の利用など、情報発信、広報啓発に取り組みました。また、センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示をはじめ、ボランティア団体とともにテレビ動画モニターによる活動紹介を作成し上映を行いました。

また、3月より月2回（隔週火曜日）リバーナ1階イオンサービスカウンター前にて、福祉まちづくりセンターの周知啓発（イベント案内、買物支援ボランティア案内）やイベントボランティアの呼びかけを行い、3組のボランティア登録がありました。

### ①地域福祉活動情報紙「なばりんく」の発行

市内各地域で実践されている福祉課題への取組みをより多くの人に知ってもらい、活動者や協力者を増やしていくことを目的に「なばりんく」を発行しました。また、本紙から子どもたちに知らせたい地域活動を取り上げた子ども版「なばりんく」を作成しました。

「なばりんく」 発行回数等	No.31～36（年6回偶数月） 市内44か所に配置 小・中学校215クラスに掲示（一部児童への配布あり）
子ども版発行回数等	（年2回）9月、1月 小・中学校215クラス掲示

## 3. 人材育成

「地域で何か人のために活動してみたい」とこれから地域福祉活動を始めようと考えている方や、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を開催しました。

※・・・再掲

実施講座	内容
生活支援員養成講座 （生活支援係協働事業）	期間：11月1日（火）～11月30日（水） 研修修了者：27名
スクエアステップ交流会※	実施日：1月18日（水）参加者18名
スクエアステップ体験会※	実施日：1月18日（水）参加者19名
スクエアステップリーダー 養成研修※	実施日：2月3日（金）、2月7日～23日（選択実習）、 3月3日（金）研修修了者：40名
スクエアステップ教室	期間：4月～3月 毎月第2・4水曜日 全23回 延べ参加者：208名
脳の健康教室	9月7日（水）説明会参加者：3名 第1クール（20回）5月18日（水）～9月28日（水） 受講者6名、サポーター12名 第2クール（20回）10月5日（水）～2月22日（水） 受講者8名、サポーター9名



防災ボランティア養成講座 ※	期間：10月29日（土）～3月4日（土）参加者：38名 6日間（18講座）
傾聴ボランティア研修会	期間：8月9日（火）～10月18日（火）参加者：19名 講義/体験：講師 開発道代氏他 施設実習：4施設、5サロン 買い物支援：車椅子でお買い物体験（リバーナ）

イベントボラ ンティア活動 の場づくり事 業	期間：6月21日～7月5日 参加者：57名 内容：七夕飾りをつくろう
	期間：8月14日～9月11日 参加者：24名 内容：地域のおじいちゃんおばあちゃんに敬老の日にカードを贈ろう
	期間：11月1日～12月13日 参加者：55名 内容：地域のおじいちゃんおばあちゃんにクリスマスカードを贈ろう
趣味・生きがい づくり交流の 場事業	7月10日 参加者：51名 内容：ストラップづくり
	8月28日 参加者：16名 内容：ストラップづくり
	9月21日 参加者：10名 内容：プリザーブドアレンジメント
	11月22日 参加者：13名 内容：利き茶体験とお抹茶体験

#### 4. 生活支援サービスへの取組み

##### ①地域での見守り、傾聴活動の組織支援

平成27年度養成した傾聴ボランティアで活動組織を立上げ、市内福祉施設での傾聴ボランティア活動を開始しました。11月より平成28年度養成した傾聴ボランティアも加わり、継続的な活動支援を行いました。

活動月	4月15日～3月31日
活動延べ人数	346名
訪問施設数	4月～10月、1月：4施設×8ヵ月 12月～3月：5施設×4ヵ月
他組織との交流研修	3月22日（水）四日市傾聴同好会

##### ②リバーナ店舗内での買い物支援事業の実施

傾聴ボランティア研修受講修了者による、リバーナでの買い物支援ボランティア活動を9月5日より開始し、毎月2回利用を呼びかけました。

#### 5. 交流活動

##### ①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」、移動おもちゃ図書館の実施

おもちゃばこ	第2・4日曜日（保護者203名 子ども233名）
移動おもちゃ図書館	7回（ボランティア延5名）

##### ②家族介護者の会「楓の会」共催による「さくら喫茶」の開催 ※再掲

開催日・場所	毎月1回（計12回）福祉まちづくりセンター 参加者74名
--------	------------------------------

③市内障害者福祉施設等による「福祉のおみせ」の出店支援

出店団体	名張育成園とも・ほっぷ・ういず、Kobo れもんぐらす、アガペの家、あぐりの杜
------	---

(3) 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

1. 名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動を進めるため、三重県共同募金会とともに「名張市共同募金委員会」活動を展開しました。

運営委員会	委員 10名 開催4回、監事2名 監査 1回
-------	------------------------

2. 共同募金運動の展開

①地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

ア. 共同募金実績 9,411,235円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり500円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等12店舗にて40ヵ所実施(協力275名)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼284法人、協力110法人)
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校3校、高等専門学校1校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼(依頼37職域、協力35職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(14ヵ所26日間)
個人募金	個人での協力や、しあわせ川柳集等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力216件)
UMOUM募金	主に市内から羽毛製品回収55点

イ. 歳末たすけあい募金実績 3,014,163円

募金の種類	実施、依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり100円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、個人3名様より寄附
法人募金	法人1社より寄附

ウ. 法人募金、職域募金、学校募金の協力拡大

伊賀タウン情報ユースの協力により、法人募金を進めました。また、三重県共同募金会による「共同募金運動発展強化モデル推進事業」を活用し、「多様な企画と多様な人・団体・機関で創る共同募金運動仕組みづくり事業」を実施し、募金協力者の拡大に努めました。

共同募金運動発展	多様な企画と多様な人・団体・機関で創る共同募金運動仕組みづくり事業 ①企業とつくる啓発資材「愛ちゃんと希望くんラムネ」
----------	--

強化モデル推進事業	②ラムネと共に配布する「募金の使われ方」チラシ作成 ③就労準備支援事業利用者と共に行う募金運動 ④助成団体と共に行う募金運動
-----------	--

### 3. 助成事業を通じた活動支援

#### ①地域福祉活動助成事業の実施

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を通じた支援を行いました。また、当事者団体（子育て支援）への助成幅を広げ、多様な活動団体支援を行えるようにしました。

平成 27 年度の募金運動実績に基づき本年度 6,983,838 円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1,292,360円
地域福祉活動助成事業	5,315,700円
市社協事業	375,778円

#### 地域福祉活動助成事業

事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	1,335,700円	共同募金配分金 (9)
	324,600円	善意銀行寄付金 (3)
地域見守り事業	2,475,000円	共同募金配分金 (76)
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	324,200円	補助金 (11)
ボランティア活動事業	1,025,000円	共同募金配分金 (31)
福祉協力校活動事業	480,000円	共同募金配分金 (20)
当事者・家族会活動事業	60,000円	善意銀行寄付金 (3)

#### ②歳末たすけあい運動配分事業

本年度は 3,014,163 円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

#### ③災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受け付けを行い、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成28年4月地震大分県被災者義援金	H28. 4. 22～H28. 9. 30	33,244円
平成28年熊本地震義援金	H28. 4. 15～H30. 3. 31	1,061,093円
平成28年熊本地震支援金	H28. 4. 15～H30. 3. 31	6,555円
平成28年鳥取県中部地震災害義援金	H28. 10. 25～H29. 3. 31	230円

## I-3. 善意銀行事業

### (1) 適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、名張市善意銀行の運営を行いました。

#### 1. 善意銀行運営委員会の開催

5月24日（火）	平成27年度寄附の受領実績と配分について 平成27年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 平成28年度事業計画（補正案）について 平成28年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月23日（木）	平成28年度寄附実績と配分について 平成29年度事業計画について

#### 2. 寄附受領実績

種別	件数	金額
現金の寄附	19件（うち指定寄附2件）	1,151,020円
車椅子	2件	新品1台、中古1台

### (2) 計画的な運用

事業内容	金額	備考
(1) 罹災者救援要綱に基づく見舞金	40,000円	火事見舞（全焼）2件
(2) 地域見守り配食事業（助成事業）	324,600円	3団体
(3) 福祉活動備品整備事業（助成事業）	0円	申請なし
(4) 当事者・家族会活動事業（助成事業）	60,000円	3団体
(5) 車いす一時貸出事業	95,040円	修理1台、消毒20台
(6) ふれあい“絆”事業（生活困窮者支援）	15,167円	食糧・水
(7) 熊本地震被災地支援事業	441,420円	
(8) 里親委託児童学習奨励金支給事業	450,000円	
(9) 指定寄附	15,000円	名張養護学園
計	1,441,227円	

## I-4. 日本赤十字社名張市地区事業

### (1) 日本赤十字社名張市地区事業

#### 1. 赤十字運動月間における住民への赤十字活動の周知と社資の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一世帯あたり 500 円を目安にお願いしました。

##### ①日赤社資の実績

社資の内容	金額
戸別	7,020,478 円
法人	705,194 円
個人	10,000 円
その他	36,897 円
合計	7,772,569 円

##### ②社資募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4 月から 6 月にかけて、15 地域の会合に出向き、協力を依頼しました。

#### 2. 地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域における福祉活動に対し、活動費を助成しました。また、市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を 3 回、赤十字講習会の講師派遣を 5 回行いました。

#### 3. 名張市と連携した迅速な罹災者への救援物資の支給

1 月 5 日の住宅全焼（名張市瀬古口地内）につき、毛布及び緊急セットを支給しました。

#### 4. 災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受け付けを行い、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
東日本大震災義援金	H23. 3. 14～H30. 3. 31	9,774 円
シリア・イラク人道危機救援金	H27. 4. 1～H30. 3. 31	358 円
平成28年熊本地震災害義援金	H28. 4. 18～H30. 3. 31	1,735,154 円
平成28年台風10号等災害義援金	H28. 9. 5～H29. 3. 31	855 円
平成28年新潟県糸魚川市大規模火災義援金	H28. 12. 26～H29. 6. 30	158 円

## I-5. なばり暮らしあんしんセンター

### (1) 福祉サービス利用援助事業

#### 1. 日常生活自立支援事業

なばり日常生活自立支援センターの相談援助件数は前年度より 250 件減少しているものの、契約締結は増え、実利用人数も 8 名増えました。初回相談件数は 15 件も増え、認知症や知的障害、精神障害等で判断能力に不安のある方々の本事業利用希望は増加傾向にあります。

また、成年後見事業と連携して、切れ目のない権利擁護にも努めました。

##### ①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問い合わせ件数	4	0	0	3	7
初回相談件数	12	11	9	3	35
相談援助件数	1,153	2,033	1,360	274	4,820
契約締結件数	5	7	4	0	16
終了件数	3	4	0	1	8
実利用人数 (28年度末)	15	24	23	2	64

##### ②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	12	18	22	2	54
活動者：26名（新規2名、退職2名含む）					
生活支援員による支援 54件 /64件 支援員対応率：84%					

##### ③「地域福祉」担い手養成研修～生活支援員養成講座～の開催

地域福祉の担い手となる生活支援員の養成講座を開催しました。

※再掲

全5回	11月1日(火)～11月30日(水)
	受講者数：27名、生活支援員登録者数：21名

##### ④生活支援員定例会

現在活動中の生活支援員を対象に、年4回定例会と研修を行いました。

第1回 5月26日(木)	・テーマ「なばり暮らしあんしんセンターと新体制」
第2回 7月28日(木)	・テーマ「施設見学」 憩いの里鴻之台ケアホーム
第3回 11月6日(火)	・三重県社協主催「生活支援員研修会」 講演 「精神疾患の知識と関係づくり」 パネルディスカッション「支援のあり方を考える」
第4回 3月23日(木)	・テーマ「人はなぜボランティアをするのか」

#### 2. 関係機関とのネットワーク形成

契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関と情報の共有や支援の連携を行うことで質の高い支援を実施しました。

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会</li> <li>・名張市精神保健福祉関係者連絡会</li> <li>・名張市共生地域デザイン会議（権利擁護部会）</li> <li>・伊賀圏域障がい福祉連絡協議会（地域移行部会）</li> </ul>
---------	--

## （２）成年後見事業

### １．法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上監護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（平成 28 年度受任件数：後見 5 件、保佐 2 件）

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見（5 件）	14	275	287	576
保佐（2 件）	19	191	195	405

#### ①法人後見支援員の育成・活用

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、法人の強みである身上監護面の対応を中心に法律関係者等と連携して法人後見業務に取り組みました。

（法人後見支援員数：4 名／担当件数 5 件）

### ２．法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民児協、名張市等の参画のもと 4 回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第 20 回 6 月 3 日（金）	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 法人後見啓発研修会について 3. 成年後見制度利用促進法について
第 21 回 8 月 29 日（月）	
第 22 回 12 月 7 日（水）	
第 23 回 2 月 28 日（火）	

### ３．受託法人としての運営強化

地域における成年後見制度の啓発のための研修会や関係機関とのネットワークの強化、権利擁護に関する総合相談等を実施し、地域で安心して生活が送れるよう受託法人としての総合的な運営の強化に努めました。

#### ①成年後見制度に関する研修会の開催

日 程	活 動 内 容
1 月 21（土）	法人後見啓発研修会（成年後見制度法人後見支援事業） 「成年後見制度について」（講演） 「家族会を中心とした法人後見への取り組み」（鼎談） 場所：名張市防災センター 参加者：74 名

## ②関係機関とのネットワーク形成

会議、研修等 への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀地域福祉後見サポートセンター（運営委員会、名張市地域包括支援センターとの連絡会）</li> <li>・三重県社協成年後見推進会議、事例検討会</li> <li>・成年後見にかかる津家庭裁判所との連絡会議</li> <li>・成年後見制度利用促進基本計画に関する意見交換会</li> </ul>
----------------	--

## ③権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や、高齢者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	計
新規相談	2	0	1	1	4
継続相談	0	0	0	0	0
問合せ	3	0	0	0	3

## （3）生活困窮者自立支援事業

さまざまな生活課題を抱える生活困窮者に対し、仕事・金銭・健康・家族等、本人と共に課題を整理することで、目標を定めて支援プランを作成し、包括的かつ継続的な支援を実施しました。また、被保護者に対する自立支援も実施することで、切れ目のない一体的な支援を行いました。

### 1. 総合的な相談支援体制の確立

「なばり暮らしあんしんセンター」において、個人を対象とする相談支援業務を一体的に実施することで、日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業等、社会福祉協議会が持つ社会資源を有効に活用しながら、複合的な生活課題を抱える生活困窮者に包括的な対応をしてきました。

また、相談支援員の各種相談支援事業に対する相互理解が進んだことで、スムーズな連携と適切な支援のコーディネートが可能となりました。

さらに、研修等に積極的に参加することで、支援スキルを高めるとともに、関係者との横のつながりを作ることで問題意識の共有と新たな発想をもたらす契機となりました。

### 2. 関係機関との連携体制の強化

名張市福祉子ども部生活支援室や名張市地域包括支援センター、名張市家庭児童相談室等と連携して支援を行う他、まちの保健室や民生委員・児童委員などの地域の関係機関との連携も強化することで、複合的な生活課題を抱える困窮世帯に対して、さまざまな角度から支援を行うことが可能となり、難解なケースに対しても、より適切な支援が行えました。

### 3. 自立相談支援事業

#### ①自立に向けた相談支援の実施

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークから、本人と共に、本人が抱える課題を整理し、プランに基づく支援をコーディネートし、自立に向けた支援を実施しました。



・相談件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	147	153	65	69	98	62	66	46	63	63	55	56	943
訪問	50	33	30	20	44	25	15	10	16	12	13	22	290
来所	61	44	29	16	34	29	41	38	24	25	48	60	449
合計	258	230	124	105	176	116	122	94	103	100	116	138	1682

②支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、支援調整会議を原則月1回、関係機関と定期的に行いました。

・支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援決定	2	0	3	0	6	5	4	3	1	1	4	1	30
その他・協議	1	1	1	0	8	5	3	9	4	7	5	6	50
合計	3	1	4	0	14	10	7	12	5	8	9	7	80

③社会資源の活用と開発

ア. 名張市ふれあい“絆”事業

緊急支援の際に活用するフードバンクや、地域住民に食料品や物品の寄付を募り、地域で支えるネットワークの構築を進める「名張市ふれあい“絆”事業」を企画し、善意銀行を活用して実施する体制を整えました。生活困窮者のみならず、困窮者を支える地域の団体とも連携することで、より一層の効果が期待でき、非常に重要な企画となります。

イ. 生活困窮者支援緊急食糧提供事業および緊急時物品等支援事業

三重県社会福祉協議会の実施する生活困窮者支援緊急食糧提供事業を活用し、食糧に困っている相談者に迅速な対応を行いました。また、緊急時物品等支援事業においても、食器やカイロ等、必要な日用品の購入のため、積極的に活用しました。

・支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供事業	0	2	0	1	1	4	0	4	1	2	5	4	24
緊急時物品等支援事業	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	5
合計	0	2	0	2	1	4	0	5	1	2	7	5	29

④離職者等に対する迅速な支援

離職者等に対し、住居確保給付金の検討や、生活保護受給者等就労自立促進事業、無料職業紹介所による就労支援等を実施することで、生活保護に至る前の段階で、早期の自立支援を実施しました。

ア. 生活保護受給者等就労自立促進事業支援実施状況

	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
男性	1名	0名	0名	3名	0名	100%
女性	2名	1名	2名	0名	0名	100%

イ. 無料職業紹介所支援件数

求人		求職	
周知事業所件数	うち新規求人登録	新規求職登録者数	うち就労者
10件	2件	1件	1件

⑤三重県居住支援連絡会への参画

三重県あんしん賃貸支援事業実施要領に基づき、名張市とともに、居住支援団体として三重県に登録し、三重県居住支援連絡会の活動に参画しました。

4. 被保護者就労支援事業

①切れ目のない一体的な支援

被保護者に対する就労支援を生活困窮者の支援と一体的に行うことで、切れ目のない一貫した支援を継続的に実施することができました。

・相談件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	20	6	11	0	7	6	2	11	9	13	5	10	100
訪問	1	1	2	0	1	0	0	0	1	1	1	2	10
来所	8	3	6	0	7	13	6	4	5	6	9	5	72
合計	29	10	19	0	15	19	8	15	15	20	15	17	182

②稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業の支援調整会議と一体的に運営することで、支援の質を確保し、また、情報の共有も容易になったことから、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	8月 2件、	12月 3件	合計 5件
その他・協議	8月 1件、	12月 0件	合計 1件

5. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び被保護者に対し、以下の支援を段階的に実施することで、支援ニーズに合致したメニューを提供することが可能となり、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

①自立支援メニュー

ア. 一般就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援

日常生活を送る上で必要な生活習慣の形成のための指導、訓練を行いました。

イ. コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援

社会性の向上等、社会生活を送るために必要な能力を身に付けるための指導、訓練を行いました。

ウ. 就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

継続的に就労経験を積む場を提供し、一般就労への就職活動に向けた技法や知識の習得のための支援を行いました。

②支援実施状況

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	8	9	18	1	3	6	5	2	3	3	1	1	60
訪問	1	3	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	12
来所	0	4	11	5	6	5	11	12	10	8	17	17	106
体験	2	6	14	8	8	6	3	4	5	7	4	2	69
合計	11	22	44	15	20	20	19	18	18	18	22	20	247

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	12	0	1	3	7	12	8	4	1	6	3	4	61
訪問	1	0	6	3	4	8	10	4	6	1	0	3	46
来所	1	5	14	33	49	52	49	23	18	4	3	21	272
体験	1	0	0	11	11	16	6	6	5	14	4	4	78
合計	15	5	21	50	71	88	73	37	30	25	10	32	457

③協力事業所における就労体験

地域内の事業所より協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供し、社会経験を蓄積することで、社会的能力の形成のための支援を行いました。

・支援実施状況（延件数）

事業所名	合計	事業所名	合計
隠おたがいさん	6	ASA ネットワーク桔梗が丘西部	12
特別養護老人ホーム国津園(新規)	3	NPO 法人アガペの家	56
あぐりの杜(新規)	7	5事業所 合計	84

6. 家計相談支援事業

①家計再生のための分析や再建プランの提案

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等の家計に関する生活課題を抱えている相談者に対して、家計に特化した専門的な助言・指導を行うことで、相談者が主体的に家計管理に取り組めるよう、早期の自立を目指した支援を実施しました。

## ②債務整理に関する支援

多重債務解決支援プログラムを活用し、債務整理に関する伴走型の支援を行うとともに、多重債務に至った背景に目を向け、これまでの家計管理を見直し、生活再建に向けた支援を実施しました。

## ③貸付の斡旋

離職等により一時的に生活を維持することが困難となった生活困窮者に対し、就労支援と家計支援を併用し、再就職後の初回給料のつなぎ資金を斡旋する等、伴走型支援に合わせて貸付を利用することで、効果的な自立支援を実施しました。また、「貧困の連鎖」を防ぐべく、教育支援資金の斡旋も積極的に行いました。

## ④支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	27	15	7	27	23	16	12	12	2	31	31	28	231
訪問	6	6	3	13	15	7	9	7	2	14	11	14	107
来所	9	3	2	3	1	3	5	2	2	4	7	4	45
合計	42	24	12	43	39	26	26	21	6	49	49	46	383

## (4) 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者自立支援事業や被保護者の自立支援における伴走型の支援に、貸付という経済的支援を組み合わせることで、セーフティネットとしての重要な役割を果たしました。また、自立支援における支援メニューの一つとして、相談者との関係性の構築や円滑な支援を実施するために重要な役割を担いました。

### 1. 地域福祉金庫貸付

緊急かつ一時的な出費により生活を維持することが困難となった生活困窮者等に対して、3万円を上限に貸付による経済的支援を実施しました。

貸付金額	1,974,000円 (85件)
償還額	1,781,000円 (93件)
未償還額 (過年度分含む)	1,394,000円 (64件)

### 2. 地域経済対策緊急資金貸付

リーマン・ショックによる景気の悪化を受け、離職者を対象に一時的な資金として貸付を行っていましたが、現在は償還業務のみとなっています。

過年度分	償還額	0円	未償還額	90,000円 (3件)
------	-----	----	------	--------------

## (5) 生活福祉資金貸付事業

収入が少なく、必要な資金を金融機関等から借入することが困難な世帯や、障害者、高齢者のいる世帯の生活の安定、向上を図ることを目的に、次の通り貸付を行いました。

貸付にあたっては、より効果的に低所得世帯等の自立支援を図るために、生活困窮者自立支援事業を併用することでより包括的な支援を実施しました。

①相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数 (実数)	相談件数 (延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		15	23	0	0円
福祉資金	療養費・介護費	11	32	0	0円
	福祉費	12	134	2	147,000円
	福祉費(住宅)	16	192	2	488,600円
	障害者自動車購入費	4	22	0	0円
	生業費	3	24	0	0円
	技能習得費	14	87	2	610,000円
	緊急小口資金	37	271	6	530,000円
教育支援資金		14	319	6	5,400,000円
不動産担保型生活資金		5	23	0	0円
その他		2	6	0	－円
合計		133	1,133	18	7,175,600円

②長期滞納者面談

面談日(面談者数)	9月14日(3名)、12月19日(1名)、1月24日(4名)
-----------	--------------------------------

(6) 名張市国民健康保険出産費資金貸付事業

出産一時金の支給を受けるまでの間、出産に要する費用を支払うための資金を貸し付ける制度で国民健康保険に加入している事が条件ですが、現在は償還業務のみとなっています。

過年度分	償還額	10,000円	未償還額	60,000円(1件)
------	-----	---------	------	-------------

## Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】（介護支援課）

### （1）事業経営管理体制の整備

#### 1. 経営管理体制の整備

##### ①事業実績

事業名	事業実績	摘要				
老人デイサービス事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25.0 人/日</td> <td>25.3 人/日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●稼働率：90%</li> <li>●平均介護度：2.61 (2.75)</li> <li>●延べ利用者比率 介護：97%・予防：3%</li> <li>●75歳以上比率：92%</li> <li>●各種加算の取得 ・処遇改善加算Ⅰ ・サービス提供体制加算Ⅱ ・中重度対応加算</li> </ul>	目標	実績	25.0 人/日	25.3 人/日	<p>次期制度改正に向け、要介護度の高い方でもしっかりと受容れることができるように「中重度ケア体制」の要件を整備しました。また認知症ケア対応力を向上していくための職員育成を進めました。業績については堅調に推移し、今後の事業継続に必要な費用の積立を行うなど財務基盤の整備を行いました。常勤看護職員・登録介護員等の人材確保が今後の課題となっています。</p>
目標	実績					
25.0 人/日	25.3 人/日					
訪問看護事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.2 人/日</td> <td>13.5 人/日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平均介護度：3.04 (3.14)</li> <li>●延べ利用者比率 介護：85%・予防：3% 医療：12%</li> <li>●75歳以上比率：77%</li> <li>●地区比率 名張：66%・市外：34%</li> </ul>	目標	実績	14.2 人/日	13.5 人/日	<p>社協において医療看護サービスを実施していることは今後の地域包括ケア推進において大きな強みとなることから、専門看護師の育成を行うなど、提供体制の基盤整備を行いました。業績については、職員育成中であったこともあり、短期集中型ケアの必要な方への効率的なサービス提供ができず、減益決算となっています。適正規模による効率的な事業経営に向けた職員確保が今後の課題となっています。</p>
目標	実績					
14.2 人/日	13.5 人/日					
居宅介護支援事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>190 件/月</td> <td>194.9 件/月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアマネ一人当たり：33.2</li> <li>●平均介護度：2.44 (2.53)</li> <li>●要介護度3以上比率：44%</li> <li>●延べ利用者比率 介護：98%・予防：2%</li> <li>●75歳以上比率：85%</li> </ul>	目標	実績	190 件/月	194.9 件/月	<p>「特定事業所」（質の高いケアマネジメントを実施する事業所）としての要件と機能の維持・向上を図るため、主任介護支援専門員育成を図りました。業績については堅調に推移し、今後の事業継続に必要な費用の積立を行うなどの財務基盤の整備を行いました。</p>
目標	実績					
190 件/月	194.9 件/月					

②経営管理体制の整備

業務管理体制の整備	各種法令に則った事業を適正に実施しながら、事業経営課題（業績の管理やサービスの質の維持向上、勤務する職員管理）の共有と、事業区分を越えて総合的に協議し、健全な経営とサービス提供に努めました。					
	事業運営管理会議	課長・各事業管理者	14回/年			
	事業所運営会議	居宅介護	44回/年			
		訪問看護	12回/年			
通所介護		10回/年				
老人福祉センター		4回/年				
業務の標準化	各事業所においても、サービス向上に向けた課題を従事する職員全員で共有・検討する場を設け、よりよいサービス提供の取組みに努めました。					
	サービス向上検討委員会	課長・各事業管理者	12回/年			
	(リスクマネジメント実績)					
	事業名	相談 受付票	ひやり ハット	事故	苦情	計
	居宅介護支援	4		1	1	6
	訪問看護	2		1	1	4
通所介護	33	2			35	
老人福祉センター	4				4	
計	43	2	2	2	49	

2. 人材確保・人材育成

人材育成	<p>制度改正に伴う専門的ケア（ターミナルケア、認知症ケア、リハビリケア、中重度ケア）への対応力向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任介護支援専門員研修修了者 1名</li> <li>・専門看護師育成 1名</li> <li>・認知症介護実践研修修了者 1名</li> <li>・認知症介護実践リーダー研修修了者 1名</li> </ul>
人材確保・定着	<p>【人事給与制度見直し】</p> <p>介護事業に携わる専門職（ケアマネ・看護師・介護職員）の給与表及び職責・職務等級表を見直しました。</p> <p>【目標管理制度】</p> <p>管理者が主体的に配属職員への具体的指導・助言ができるよう、課員全員の目標内容を確認し、面談を行いました。</p> <p>【キャリアアップ支援】</p> <p>キャリアアップ支援要綱を活用し、訪問看護事業所より、「専門看護師」資格取得に向けた取組みを進めました。</p>

医療行為業務への対応	訪問看護及びデイサービスにおける看護師の医療行為に対する保険の見直しを行い、医療ニーズに対する専門的ケア実施に向けた環境整備を行いました。
------------	---

## (2) 事業別取組み実績

### 1. 通所介護事業（在宅介護支援）

デイサービスセンターにおいて、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションを提供し、利用者の方の自立支援及びご家族の介護負担軽減に努めました。

#### ①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	34	4%	246	3%
介護（要介護1から5）	721	96%	7,445	97%
計	755		7,691	

#### ②利用者の特性

##### ア. 年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	0	60	695	419
	—	8%	92%	56%
延利用者数	0	560	7,131	4,334
	—	7%	93%	56%

##### イ. 要介護区分

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	34	138	220	170	110	83
	4%	18%	29%	23%	15%	11%
延利用者数	246	1,503	2,259	1,882	1,227	572
	3%	19%	29%	25%	16%	8%

#### ③交流事業の実施

昭和保育園交流事業	24回
-----------	-----

#### ④ボランティアによる支援

団体数(個人含む)	延日数	延支援者数
15	190日	790名
内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傾聴    ・ コーラス    ・ 手話    ・ 演歌、唄    ・ 盆踊り    ・ 琴演奏    ・ レクリエーションダンス</li> <li>・ ウクレレ演奏    ・ キッズダンス    ・ 太鼓演奏</li> </ul>		



⑤人材養成への協力

内容	月日	対象者数
教員免許法特例に基づく介護体験への協力	①10/3～10/7	① 1名
①京都ノートルダム女子大学 ②仏教大学	②2/13～2/17	② 1名
傾聴ボランティア育成	9/27～10/18	11名
シニアいきいきチャレンジ教室（三重県社協）	9/24・9/26	1名

⑥その他

ふれあい通信（行事予定や職員からのワンポイントアドバイス等）の発行（毎月発行）

2. 訪問看護事業（在宅療養支援）

名賀医師会の協力に基づく訪問看護ステーションとして、名張市及び伊賀市旧青山町をエリアに、訪問看護師が主治医及び介護支援専門員と連携しながら生活の場へ赴き、在宅での療養生活支援に努めました。

①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	26	5%	89	3%
介護（要介護1から5）	446	86%	2,790	85%
医療（乳幼児から高齢者）	49	9%	398	12%
計	521		3,277	

②利用者の特性

ア. 年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	（内85歳以上）
実利用者数	24	104	393	244
	5%	20%	75%	47%
延利用者数	147	597	2,533	1,477
	5%	18%	77%	45%

イ. 要介護区分（医療保険分含む）

	医療	介護					
		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	49	26	100	83	52	122	89
	10%	5%	19%	16%	10%	23%	17%
延利用者数	398	89	584	383	237	1,001	585
	12%	3%	18%	12%	7%	30%	18%

### ③地域別利用状況

	実利用者数		延利用者数	
	人数	割合	人数	割合
名張	354	68%	2,155	66%
伊賀市旧青山町	146	28%	1,026	31%
エリア外	21	4%	96	3%

### ④24時間365日の対応（緊急訪問対応件数）

通常 (8:30~17:30)	早朝 (6:00~8:30)	夜間 (17:30~22:00)	深夜 (22:00~6:00)
98	2	9	8
84%	1%	8%	7%

※その他緊急相談対応：167件

### ⑤関係機関との連携

#### ア. ケアプラン提供事業所数

居宅介護支援事業所		地域包括支援センター	
名張	伊賀	名張	伊賀
13	3	1	1

#### イ. 医療機関との連携

	名張市の 医療機関	伊賀市の 医療機関	その他県内の 医療機関
医療機関数	18	7	4
	62%	24%	14%
指示書数	333	161	27
	64%	31%	5%

#### ウ. その他

会議名	備考
三重県訪問看護ステーション連絡協議会伊賀地区ブロック会議	名張市・伊賀市の訪問看護ステーション管理者による会議の開催（10回）
名張市訪問看護ステーション連絡協議会管理者会議	市内訪問看護開設事業所の管理者による会議の開催（7回）

### ⑥人材養成への協力

内容	月日	対象者数
三重県訪問看護師養成研修への協力	11/14~11/16	1名

## 3. 居宅介護支援事業（相談援助）

介護支援専門員（ケアマネジャー）により、介護を必要とする方の心身の状況、意向を踏まえた居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、各サービスが適切に提供されるよう関係機関

との連携・連絡調整を図りました。

①年間利用者数

給付種別	年間延利用者数	
予防（要支援 1 及び 2）	93	4%
介護（要介護 1 から 5）	2,329	96%
計	2,422	

②利用者の特性

ア. 年齢

65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	(内 85 歳以上)
63	290	2,069	1,064
3%	12%	85%	44%

イ. 要介護区分

要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
93	544	761	559	262	203
4%	22%	31%	23%	11%	9%

③24 時間 365 日の対応（緊急相談調整件数）

通常 (8:30~17:30)	早朝 (6:00~8:30)	夜間 (17:30~22:00)	深夜 (22:00~6:00)
264	79	67	15
62%	18%	16%	4%

※計：425 件 ※月平均：35.4 件 緊急訪問：2 件

④各種代行業務

(件)

介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書	173
要介護認定等資料提供申出書	195
短期入所に係る長期継続利用理由書	14
保険証返還	87
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	75
紙おむつ等給付事業利用申請書	29
軽度生活援助事業利用申請書	2
介護保険居宅介護（支援）住宅改修費支給申請書・住宅改修が必要な理由書	62
介護保険居宅介護（支援）福祉用具購入費支給申請書	23
介護保険負担限度額認定申請書	3
名張市配食サービス事業利用申請書	12
名張市訪問理美容サービス事業利用申請書	2
指定（介護予防）福祉用具貸与理由書	2
通院介助のための乗車又は降車の介助が中心である場合のケアプランの提出	17

⑤人材養成への協力

内容	月日	対象者数
平成 28 年度三重県介護支援専門員実務研修受講者実習受入	①2月10日 ②2月15日 ③2月20日	1名

### Ⅲ 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

#### （１）事業の概要

##### 1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

##### 2. 保育実績

保育人数	0歳児 12名、1歳児 24名、2歳児 24名 3歳児 30名、4歳児 30名、5歳児 25名 合計 145名
土曜日保育	保護者のニーズにより、延べ 1,996名 週平均 40名

##### 3. 年間行事

4月 5日	はじまりのつどい	8月 23, 24日	プール参観
4月 6日	花見	10月 2日	運動会
4月 7日	よもぎ摘み（5歳）	10月 7日	芋ほり
5月 13日	さくらんぼ狩り（5歳）	10月 14日	秋の遠足
5月 27日	春の遠足	10月 30日	秋祭り親子神輿
6月 1日	TVインタビュー	11月 18日	親子遠足
6月 11日	やなせまつり	12月 16日	冬のお楽しみ会
6月 17日	航空写真	12月 28日	修了式
6月 24日	交通安全教室	1月 4日	新年の集い
7月 1日	消防署見学（4, 5歳）	2月 4日	生活発表会
7月 6日	キッズスクール	2月 6日	春のつどい
7月 7日	七夕会	2月 10日	修了記念撮影
7月 12日	プール開き	2月 14日	早寝早起朝ごはん
7月 18日	丸之内夏まつり	3月 8日	一日入園
7月 22日	夏のお楽しみ会	3月 9日	お別れ会
8月 4日	親子反戦映画会	3月 25日	卒園式
8月 6日	お久しぶり 1年生	3月 28日	修了式

#### （２）適切な運営体制確立

##### 1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 (6月11日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度保育計画について 保育課程（年間計画・保健計画・食育計画）</li> <li>・27年度の事業報告</li> <li>・28年度の事業計画</li> </ul>
第2回 (2月25日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度の状況報告</li> <li>・29年度の事業計画</li> </ul>

## 2. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛散防止フィルム</li> <li>・園児用机、椅子</li> <li>・放送設備（ワイヤレスポータブルアンプ）</li> <li>・ガス警報器取替</li> <li>・プール目隠しフェンス設置</li> </ul>
老朽化のため改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給湯室冷蔵庫水漏れ修理</li> <li>・職員用トイレ水漏れ修理</li> <li>・幼児トイレ水漏れ修理</li> <li>・ホール、乳児室、幼児室クロス張替</li> <li>・給食室ガス釜修理、流し台排水水漏れ修理</li> <li>・テラス階段修理・乳児室側フェンス修理</li> <li>・乳児室、事務室、マイ保育ステーション空調機取替え</li> </ul>

## 3. 健康管理の実施

### ①園児の健診

内科健診	4月28日、10月13日
尿検査	4月19日
歯科健診	6月23日
歯みがき指導	6月30日
5歳児健診	6月22日、10月24日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	10月24日（5歳児）、2月13日（4歳児）

### ②職員の健康診断

### ③給食・調乳に係る職員の検便（毎月2回）

### ④防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

## 4. 防火計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

### ①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導
7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

### ②交通安全教室（指導）実施

6月24日	交通安全教室実施（名張警察より指導を受ける）
3月3日	交通安全教室実施（三重県交通安全協会より指導を受ける）

## 5. 保護者との連携の推進

年齢ごとに年1回、おやつ試食会と同日にクラス懇談会を開催し、保育園での遊びや生活の様子を伝えました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。

## 6. 地域との交流の推進

- ①藤堂家邸の花見（4月6日）
- ②丸之内地区子ども神輿行列参加（7月18日、10月30日）
- ③寿栄神社境内散歩（随時）
- ④高齢者さんとの交流（ふれあいデイサービス）月2回

## 7. ふれあい活動

- ①小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み、冬休み利用、延べ38名）
- ②職場体験（名張中、赤目中、山添中より10名）

## 8. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップに結びました。

### ①研修内容

園内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権保育</li> <li>・障害児保育</li> <li>・公開保育</li> <li>・乳児保育</li> <li>・幼児保育</li> <li>・救急救命</li> </ul>
園外研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・な同会（なばりの同和保育を考える会）</li> <li>・障害児保育</li> <li>・乳児保育</li> <li>・幼児保育</li> <li>・発達支援コーディネーター</li> <li>・保健</li> <li>・保育実践</li> <li>・地域子育て</li> </ul>

## ②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	12名	東京福祉短期大学 他7校
小児看護	8名	名張市立看護専門学校
インターンシップ	5名	名張高等学校

## (3) 特別保育事業

### 1. 低年齢保育事業の推進

生後6ヵ月より受け入れ、0歳児～2歳児まで定員数の数の60名の子どもを預かりました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

### 2. 延長保育事業の推進

#### ①延長保育の利用実績（平日18:15～19:15）

4月	70名	10月	113名
5月	67名	11月	110名
6月	116名	12月	128名
7月	121名	1月	123名
8月	150名	2月	154名
9月	131名	3月	176名

※1ヵ月平均 122名 年間延べ利用人数 1,459名

#### ②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

#### ③障害児保育事業の推進

個別支援計画を立て、5歳児2名の障害児保育を行いました。

5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

#### ④一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ571名預かりました。

	利 用 児 童 数						計
	半日			一日			
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
合計	91	63	16	170	43	188	571



#### (4) マイ保育ステーションの取組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。

##### 1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	128名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ989名	リピーターの増加
一時預かり無料体験	29名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育の実施

##### 2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船遊び
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測と相談
その他	園庭開放・夏期時は水あそび

#### (5) 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開

年齢（0歳児～5歳児）毎に「養護」と「教育」のねらいを持ち、日々の保育実践を行いました。また、保育士の質の向上のため専門研修に参加しました。

#### IV 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課）

##### （1）総合福祉センター指定管理事業

###### 1. 施設の維持管理

###### ①設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

ア. 名張市への設備等更新、大規模修繕実施の要請

施設、設備の老朽化による機器の故障や施設の汚損が多数発生しているため、危険度や重要度を考慮し、市に優先順位を明確にした上で、冷温水発生機、バコティンヒーター、受変電設備、非常用発電設備、GHP、中央監視システム、電話交換機等、エレベーター等、修繕に係る「名張市総合福祉センターふれあい設備等要修繕箇所に係る報告」にまとめ、要請を行いました。

###### 施設の管理状況

主 な 管 理 項 目	費 用
警備保障	544,320 円
電気保安管理	452,952 円
エレベーター設備保守	1,189,080 円
自動ドア開閉装置点検	140,400 円
防災設備点検	248,400 円
吊りものの点検	640,000 円
飲料水水質検査、残留塩素測定	119,880 円
冷却水系レジオネラ属菌対策	101,520 円
冷却水系水処理剤投入	101,088 円
清掃業務	2,630,591 円
ねずみ・ゴキブリ防除	259,200 円
空調、自家発電機ほか保守、運転、点検	7,222,716 円
駐車場管制装置保守	534,600 円
構内交換電話設備保守	155,000 円
休日・時間外管理	2,116,090 円
電話移設及び配線工事	200,000 円
GHP101 系統機能部品取外し	192,240 円
高木枝切剪定	597,240 円
バコティンヒーター給湯用熱交換器取替	1,364,040 円
非常用発電機セルモーター・冷却水ホース取替整備	812,160 円
その他	206,456 円
管理に要した費用合計	19,827,973 円

###### イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、市と協議しながら、優先順位をつけて、修繕を行いました。

主な修繕箇所	補給水配管修繕、バコティンヒーター修繕、加圧給水装置 圧力タンク修繕、重量グリルシャッター開閉器等修繕、駐
--------	--

	車場差動式スポット型感知器修繕、1階男子トイレ洗浄管修繕、空調用膨張タンク配管修繕、駐車場ゲート保護屋根修繕、ふれあい駐車場出口カーゲート修繕、EHP-101 ピアノ庫系統空調機修繕、洗面台水栓取替修繕、非常用手動閉鎖装置割りガラス修繕、散水栓バルブ漏水修繕、電話交換機用蓄電池修繕 等
修繕に要した費用	2,105,232 円

## ②施設利用状況

ア. 会議室・ホール利用件数：2,207 件（前年比 152 件減）

イ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	3,362,900 円
駐車場	259,930 円
コピー・印刷代	259,581 円
卓球台	114,900 円
合 計	3,997,311 円

## ③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行いました。

## 2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

## 3. 防災対策

### ①防火管理委員会の開催

2 回：8 月 3 日（水）、11 月 29 日（火）

### ②消防計画に基づく防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災発生を想定し、各事業所職員を対象とした防災訓練を実施しました。

実施日時	8 月 23 日(火) 13 : 30 ~ 15 : 00	12 月 14 日(水) 13 : 30 ~ 15 : 00
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自衛消防組織の役割について 説明会</li> <li>・ 水消火器消火訓練</li> <li>・ 通報訓練（消防署・館内）</li> <li>・ 避難誘導訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自衛消防組織の役割について 説明会</li> <li>・ 通報訓練（消防署・館内）</li> <li>・ 避難誘導訓練</li> <li>・ 水消火器消火訓練</li> </ul>
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、デイサービス利用者	

## V【老人福祉センター「ふれあい」拠点】（介護支援課）

### （1）老人福祉センター指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

#### 1. 老人福祉センター管理運営事業

##### ①利用状況

開館日数	297日		
年間延べ利用者数	17,408名	浴室延べ利用者数	8,933名
		カラオケ延べ利用者数	10,079名
		土曜日の障害者利用者数	185名

#### 2. 生きがい活動支援通所事業

##### ①事業実績

基本事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活相談：受付等にて、随時利用者の生活相談に応じました。</li> <li>映画会：月1回6日間（月～土）映画の上映を実施しました。</li> <li>ふれあい交番の日：月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する話を実施しました。</li> </ul>		
風呂の日の実施	利用者のおよそ6割以上が入浴を利用し、利用者からも薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月第3土曜	12月は1週間（月～土）
各種発表会の開催	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため各種発表会を開催しました。また、利用者によって組織された実行委員会の企画運営など、利用者の主体的な活動を支援しました。		
	ビリヤード大会	7月23日（土） 12月3日（土） 3月11日（土）	参加者：12名 参加者：12名 参加者：13名
	七夕カラオケ大会	7月2日（土）	参加者：64組
	芸能発表会	12月17日（土）	参加組：15組
	新春カラオケ大会	1月21日（土）	参加者：67名
	作品発表会（1週間開催）	3月13日（月）～	参加者：50名
地域活動支援	名張地区民生委員児童委員協議会が実施する「高齢者のつどい」を支援しました。	6月9日（木）	参加者：49名
	名張地区松寿会「カラオケ大会」開催を支援しました。	7月21日（木）	参加者：50名
自主サークル活動	サークル名	回数	延参加者数
	カラオケ教室	22回	603名
	ふれあいハーモニー	11回	49名

	いきいき書道クラブ (漢字・かな)	12回	205名	
	レクレーションサークル	12回	53名	
	茶道教室	12回	36名	
	ながつき友の会	11回	73名	
	ビリヤード教室	48回	286名	
	計	124回	1305名	
社協事業への協力	「ふれあいフェスティバル」(11月26日)会場として施設開放し、センター利用の啓発等を図りました。			

## ② ボランティア協力実績

内 容	回数	延協力者数
カラオケ指導	22回	22名
カラオケ入力	79回	79名
コーラス指導	7回	14名
大会支援	2回	4名
スクエアステップ教室	38回	122名

## ③ 実習生の受け入れ

内 容	回数	人数
三重県盲学校のあんま・マッサージの無料体験 (学生の実技実習)	1回	1名 指導教員2名

## (2) 介護予防事業

### 1. 独自事業実績

メニュー	内容	備考
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー(ボランティア)の協力を得て実施しました。	実施日数：47日 延べ 1,225名
健康チェックデー 5日間(年2回)	血圧、体重、身長、BMI、体力測定を行い、健康相談を実施しました。	延べ32名 4月、12月
私の健康カルテ	自分自身の健康管理や介護予防への意識付けを目的に発行しました。	発行部数：6冊 (健康チェックデー・通所C)
歯科衛生士による 「歯科相談」	歯科衛生士による、お口のアンケートと歯科相談を実施しました。	実施日数：2日 延べ 50名

## 2. 介護予防・日常生活支援総合事業実績

### ①一般介護予防事業実績

メニュー	内容	備考
健康相談	受付にて、希望者の血圧測定・健康相談に応じました。	延べ 1,305名
一般マシン・トレーニング教室	年間を6クールに分け、1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施しました。(月～金曜日に実施)	実施日数：210日 延べ 3,749名
ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指していただくことを目的に実施しました。 ① 作って食べようバイキング料理	延べ 23名

### ②介護予防・生活支援サービス事業実績

	実施時期	実施日数	実参加者数	延参加者数
通所運動支援サービス (通所型サービスC)事業	6月～3月	28日	3名	46名

## 平成 28 年度 事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月  
社会福祉法人 名張市社会福祉協議会